健康・医療データ分析のデジタル化への取組について～ICT活用によるライフプランの実現イメージ～

【目的】
県民が日頃から健康意識を持ち、日々の生活習慣改善や健診受診等の行動変容に移せるよう、産・官・学が連携した共同分析会議（分析コンソーシアム）において、健康・医療データ等を分析し、そのエビデンスを「見える化」して県民に届け、健康寿命の延伸を図っていく。
最終的に、住民一人一人が安心して暮らせ、希望がかなう鳥取を目指していく。

【事業内容】（R4～R6年度の3か年計画）
医療保険者が保管するビッグデータ（医療・健診・介護等）を活用して現在の疾病状況や将来予測を分析し、県民の予防行動・受診行動に繋げ、健康寿命の延伸を図る。その一手段として、県民向け、医療保険者向けに展開するアプリを開発し効率的・効果的な保健活動基盤を構築する。

目指す姿

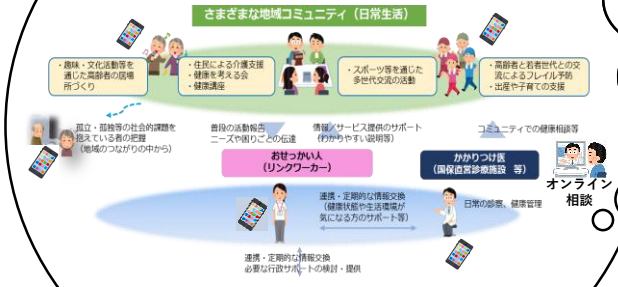
デジタルプラットホームへの導入

買い物　医療（調剤）　予防・健康づくり　配食　図書

希望がかなうデジタル化

Life planの実現へ

分析データで現状と重症化予防の提案をアプリで表示し、リンクワーカー、かかりつけ医と連携し社会的処方に繋げる。



見える化アプリ

住民向け展開

分析データ、将来予測データをアプリで見える化し、疾病のハイリスク群、予備群への保健事業に活用する。

保健師
看護師
民生委員
等

連携

かかりつけ医

予防行動の伴走

ハイリスク・予備群へのアプローチ

PDCA

例：
フレイル予防　等

データヘルス計画への反映・評価

見える化アプリ

医療保険者向け展開

事業対象者リスト（ハイリスク者・予備群）

住民の健康レベル・将来予測

分析結果

健康・医療データ分析プラットホーム

共同分析会議（分析コンソーシアム）

鳥取県（総合調整）　国保連合会（データ分析）　鳥取大学（医学的判断）　県内市町村（現場活動）　IT企業（ICT技術）　三師会（かかりつけ医等）

抽出・分析・蓄積

KDBデータ：医療　健診　介護

任意データ：各種検診　生活習慣

～当面の事業展開～

【１年目（R4年度）】
○データ分析
○見える化手法の検討
○医療保険者向けアプリ開発

【２年目（R5年度）】
○分析内容及び見える化項目の拡充
○住民向けアプリ開発

【３年目（R6年度）】
○AIの活用
○事業評価
○継続的な仕組みの確立（財源等含む）

現在までの分析内容アウトプット

以下の疾病・課題に着目した分析を行い、結果に基づく保健事業対象者（ハイリスク者）リストを作成し、提供している。

R2：人工透析分析・リスト作成
　　脳卒中分析・リスト作成
　　ロコモ分析・リスト作成
R3：生活習慣病対策分析・リスト作成
　　介護予防・フレイル予防分析・リスト作成
　　生涯社会保障費推計
R4：AIを活用した疾病予測分析
（予定）がん対策分析、減塩対策分析